

実技審査課題

鈴木さゆりさん、78歳、女性は、関節リウマチがあり、朝は動きにくさを感じています。しかしもともとおしゃれな鈴木さんは、きちんと身づくろいしたいと望んでいます。毎朝7時ごろ、たいてい鈴木さんは目覚めます。鈴木さんはベッド柵につかまりながら自力で端座位になれます。施設職員は鈴木さんとこれまで2年間かかわっており、生活リズムをよくわかっているので7時前後に訪室してくれます。鈴木さんの体調と服装の意向を聞き、様子を見ながら更衣をしてください。髪を梳き、食堂へ向かってください。鈴木さんは支えられれば座位から立位が取れ、歩行器でゆっくりと歩けます。食堂では飲み物の好みを聞き提供してください。

※制限時間は10分です。制限時間内に実技終了いたしましたら手を挙げて司会にお知らせください。

※制限時間の目安としてベルを5分前に1回、1分前に1回、終了のタイミングで2回鳴らします。

※今回は空のペットボトルとやかんを用意しております。マグカップに飲み物を注ぐ動作をして、利用者の方にすすめてください。